

上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画（初版）[案]  
に関する市民説明会（吉川区）での主な質問や意見等

- 日 時 平成27年8月19日（水） 午後6時30分～午後8時
- 場 所 吉川コミュニティプラザ 3階 多目的ホール
- 参加者 58名

【主な質問・意見等】

○計画は福島事故の検証や教訓を踏まえたものにすべきだが、今回どのように整理したのか。

⇒福島事故では、正確な情報が伝わらず、避難などに混乱が生じたことなどを踏まえ、正確な情報に基づく対応、冷静な行動、放射線被ばくから身を守る屋内退避や避難行動についてまとめた。

○モニタリングポストを増設してほしい。

⇒県へは県内市町村とともに増設を要望しているところであり、すぐに対応は難しいが、少しでも早く体制が整うよう努力していきたい。

○国は市町村任せだと感じる。

⇒国は地域の事情までわからないので、市は市民の皆さんのことを考えながら対応していきたい。

○町内会での訓練などの計画はあるのか。

⇒10月に市主催の防災訓練を行う予定としている。

※ 11月1日（日）午後1時～2時に実施予定

○正確な情報伝達をお願いしたい。

⇒できるだけ早く、良い情報も悪い情報も伝えていきたい。

○原子力災害用のサイレンを設けてはどうか。

⇒検討していきたい。

○生徒を学校で引き渡すと行ったり来たりになるので、スクールバスなどで避難経路所へ行ってから引き渡すのはどうか。

⇒保護者に引き渡すことが基本だが、災害の状況に応じて、できる限り健康被害を防ぐ方法で対応していきたい。

○複合災害など最悪の事態を想定して、できるだけ完全な計画にしてもらいたい。

⇒県や県内市町村、関係機関などと課題の整理を進め、計画の実効性を高めていきたい。

○UPZ や OIL などの用語がわかりづらいので、注釈を入れるなどわかりやすくすべき。  
⇒わかりやすく表記するようにしていきたい。

○以前に山直海地区で2時間の停電があった際、1時間以上も広報がなかった。そのような時に情報がきちんと伝達されるか心配である。最悪のことも考えてもらいたい。  
⇒ラジオの電池などを普段から確認いただくなど、複数の情報入手手段の確保をお願いしたい。原子力災害のみならず、様々な災害では、防災行政無線による情報伝達が重要になる。平日夜間や休日においても、できるだけ素早く、情報伝達できるよう努めている。

○発電所などからきちんと情報伝達されるのかという不安があるので、こういった情報が流れて、誰がどう判断するのか、それがどう伝達されて行くのかということを計画で明示することで、安心感が得られると考える。

⇒災害時は、県のほか、東京電力からも直接連絡が来ることになっている。まずは市民の皆さんの安全を優先して、市が判断や指示を行っていきたい。

以上